2004.3.4
第123号

編集
福島県教育庁
会津教育事務所
編集協力
小・中学校長会
発行
福島県市町村
教育委員会連絡協議会
北会津支会、耶麻支会、両沼支会

大手を振って歩きたい

福島県教育庁
会津教育事務所業務次長
齋藤秀一

教職員の不祥事が新聞の一面に大きく報道され、私はこれまでのように大手を振って街を歩けなくなってしまった。出会った人から「学校はどうなっているの。教員は何を考えて子どもを指導しているの。教育者としてのモラルはどこへ行ってしまったの。」と言われそうな気がして。

教員の倫理規定をかざし、一人一人の意識のあり方から不祥事防止を訴えて何とかしようと試みているが、効果が目に見えてこない。特効薬などあるのだろうか。それにしても、処分を受けた教員は、中堅といわれる今まさに学校の中心となって活躍している人が多いという。なぜなのだろう。校長先生は、先入観で教員を見たり判断したりしていないだろうか。「前任校で研修主任として活躍した」「市の指導的立場にあり多くの授業実践を積み、成果をあげた」「他の学校や教員の紹介によると、人物・力量共に大変評判が良い」などと聞いただけで『すばらしい教師像』を作り上げてしまい、少しぐらい指摘をされても「何かの間違いだろう。○○先生はまじめで立派な人だ」と信じて疑わなくなってしまったりしていないだろうか。自分の目で見て、個々の教員のよさだけでなく問題点も見抜き、それに合った指導を心がけていかなければならないだろうと思う。

先生方一人一人も、自分を客観視し、「今の自分は本当にこれでよいのか。」「大手を振って歩ける姿なのか。」と絶えず問いかけることが必要であろう。

ここで、処分を受ける教員の給与面の減額について触れてみる。痛手は如何ほどか。小学校教諭(38歳)(小中教育職2級22号給)が、飲酒運転で検挙され、停職4ヶ月の処分を受けたとしよう。その教員の4ヶ月分の給料・調整額・各種手当は、1,786,000円程である。期末勤勉手当948,000円を加えると、2,734,000円が減額される。そこに昇給延伸6月も付いてまわる。また、体罰を行った教諭(29歳)(小中教育職2級14号給)が戒告処分を受けた場合は、勤勉手当が減額、昇給も3月延伸、履歴書記載事項にもなる。刑事責任(傷害罪等)・損害賠償責任(治療費・通院費・入院費等)等も負われる。それに、処分は加害教職員のみではなく、監督責任者にも及ぶ場合がある。

それにしても、一番の心配は処分前と同じ顔をして教壇に立てるだろうかということ、子どもや保護者を正面から見られるだろうということである。

さて、皆様はこの文章をどのような思いで読んでくださっただろうか。本紙の巻頭にこのように書かずにはいられなかった事の重大さを、感じていただけたら幸いである。

各種受賞紹介

(敬称省略)

○文部科学大臣表彰

・地方教育行政功労者
三島町教育委員会委員　齋藤公朗

・地域文化功労者
元金山町文化協会会長　星賢正

・優良PTA
会津若松市立城西小学校父母と教師の会

・学校給食
会津若松市永和地区学校給食センター

・学校保健
河東町立河東中学校(他五校三園)学校医　清原賴子

・体育指導委員功労者
会津若松市体育指導委員会顧問　渡部孝美

・社会体育優良団体
日曜ソフトテニスクラブ(会津若松市)

○県教育委員会表彰

・地方教育行政功労者
山都町教育委員会教育長　平田二郎

・学校教育功労者
会津若松市立第三中学校長　原康之
会津坂下町立第一中学校長　新井田明義

・社会教育功績顕著な団体・施設
金山町中央公民館

・保健体育功労者
会津若松市立城西小学校主任栄養技師　野中憲子

・保健体育功績顕著な団体・施設
山都町立山都第二小学校

○県学校給食優良団体・功労者表彰

・学校給食優良団体
猪苗代町吾妻地区学校給食共同調理場

○県学校歯科保健優良校表彰

・栄誉賞
三島町立三島小学校

・最優秀賞
山都町立山都第二小学校
高郷村立高郷中学校

・優秀賞
河東町立河東第三小学校
北塩原村立北山小学校
塩川町立姥堂小学校
山都町立山都第一小学校
高郷村立高郷第一小学校
三島町立三島中学校

○県教職員研究論文入賞者

・特選
会津坂下町立坂下小学校教諭　渡辺秀一

・入選
会津高田町立尾岐小学校教諭　平塚学

○県学校関係緑化コンクール表彰
(学校環境緑化の部―小学校)

・教育長賞並びに特別賞
北会津村立川南小学校

・緑化推進委員会理事長賞
塩川町立駒形小学校

ふくしま夢実現プラン・基礎学力向上推進支援事業だより

今年度は、域内でモデル校８校（新規指定）、フロンティア校６校（内、３校は継続校）が指定校として前向きに取り組んでいる。

モデル校では基礎学力、小・中連携、習熟度別学習等を、フロンティア校では発展的な指導、補充的な指導等を中心に研究がなされ、公開授業や研究協議会における発表等を通して、その成果の普及が図られている。

なお、今後、各指定校の「研究集録」が届くので、ぜひ参考にしてほしい。

さて、このような中、三島中学校では、モデル校の指定を受け、基礎学力の向上のための研究を進めてきた。「生徒一人一人に基礎的・基本的な内容を定着させるための指導のあり方」を研究主題に掲げ、基礎・基本の確実な定着のための実効ある研究となっている。

今回、その研究成果の一端を紹介する。

小規模校の特性を生かして

三島町立三島中学校

(1) 学力コンテストの実施

○　国語、数学、英語の基礎・基本の定着を図ることや学習への意欲・関心を高めることをねらいとして、漢字、計算、英語のボキャブラリーの３つのコンテストを行った。期間は約２週間。それぞれの教科の基本的な問題を１００問中８０～９０問以上正解したら合格という設定で取り組んだ。会場を体育館にしたことや、全校一斉に朝自習の時間から取り組んだことで、意欲的な姿勢がみられ、生徒同士もよい刺激になっていた。また下位生徒からも合格者が出て、彼らにとっても自信や励みになったものと思われる。

コンテストを受けている様子

(2) 個別支援のためのＴ・Ｔの導入

○　きめ細かな指導をするために、５教科についてＴ・Ｔで25分のモジュール授業を実施した。モチベーションの高い定期テスト前に実施したことで、生徒は意欲的に集中して取り組んだ。また、習熟度に応じて個別支援を行うことができた。全教職員で取り組むことによって、教科担任や学年だけに任せることなく、全校体制で基礎学力の向上に取り組む雰囲気をつくることができてきた。

英語のモジュールＴ・Ｔ

(3) 基礎・基本の徹底と確かな学力の定着を図る手だて

○　各教科において、課題設定の工夫やドリル的な学習、評価の工夫など、基礎・基本の定着を図るための手だてを学習過程に位置付けた。このことにより、日々の授業の中での実践を継続した取り組みにすることができ、学習方法の訓練にもつなげることができた。

(4) 小・中学校の連携

○　小学校から中学校に学習がスムーズに移行できるように、小規模校の特性を生かし、小・中連携の在り方などについての協議や、小・中学校の教諭によるＴ・Ｔ授業を行った。お互いの授業を参観したり、情報交換することで指導方法について関連性を持たせることができた。

学校教育相談事業だより
～『地域教育相談推進事業』との連携～

学校教育相談員　岩　橋　紀　男

会津教育事務所学校教育相談員の訪問相談は、要請を受けての訪問はごく僅かで、ほとんどは相談員が学校の都合をお聞きした上で計画する訪問である。

中学校における相談内容の大半が不登校問題であるのに対し、小学校では就学指導、身体・精神不安についての相談が多くなっている。勿論、単純に比較することはできないが、１２月末現在で件数、割合とも昨年の同期をやや上回っている。

相談内容の説明からは、担任されている先生方の日々刻々のご苦労と、学校としてどのような指導体制を整えるかに苦慮されている様子、適切な指導・対応のあり方について研修に取り組んでおられる様子等がひしひしと伝わってくる。

なんとかお役に立ちたいものと、『地域教育相談推進事業』の巡回相談を紹介する。

後に「大変勉強になりました。今後の指導に生かしていきたい。」との声を聞くと嬉しくなる。今後も他関係機関・事業との連携を図り、実効性のある相談に努めていきたい。

地域に学ぶ

浜　崎　城　跡

湯川村教育委員会

浜崎城跡は、中世から近世にかけて会津盆地のほぼ中央を通る米沢街道の要衝、浜崎集落の東北にあって、北を日橋川が清流し、「北方（きたかた）」と称した会津北部を押さえる位置を占める重要拠点であった。「会津古墨記」によると「別名藤森城と称し、浜崎主馬、至徳年間（1384年～1386年）築く」とあるが、築城の時期については詳らかではない。

古文書「真壁文書」によれば、三浦若狭守（芦名直盛か）が会津の北方の備えとして軍略上重要な出城であったようであり、この城の攻防をかけた戦いが幾度か繰り広げられている。

徳川時代に入り、元和元年（1615年）一国一城の令が出され浜崎城は廃城すべきであったが、会津藩（蒲生氏）では「茶屋」と名づけて暫しの年月そのまま城を残し日橋川水運の拠点とした。

明治になって、三方道路の開削や岩越鉄道の開通により、中央に国道121号線が南北に走り城跡は東西に分断され民地となった。現在の城跡は本丸の西と南、東北の土塁の一部と堀形の跡を止めるのみとなっている。（本城跡は昭和56年３月27日湯川村史跡に指定された。）

浜崎城絵図（慶徳孝夫氏蔵）

心に残る人々

新鶴村教育委員会教育長

古　川　保　夫

「心に残る人々」と言われて、頭に浮かぶ先輩後輩は数多くいるが、その中でも強く印象に残っている人は、中学２年生の時の担任だったＴ先生である。バリバリでひときわ大きな目がいつも輝いていて、非常に厳しい先生だったが、転校生の私が、会津弁がわからず級友から「いじめ」にあっている時いつも励まし、やさしく見守ってくれていたことを今でも忘れることができない。

私が教師の道を選んだのも、Ｔ先生の中学時代の教えによるところが大きかったと思っている。

青年教師時代に管理職を目指せと励ましながら「人を育てる」ことと管理職としてのあり方のイロハを身をもって示してくれた、今は亡きＳ校長先生も私の心の中に生き続けている忘れることのできない一人である。

そして、子どもを育てること（教育）の原点は動植物を育てることと通じるものがあることを、日々の教育実践を通して見せてくれた後輩のＹ先生・・・。と、私の人生を通してその節目節目で多くのすぐれた師や同僚、後輩に恵まれて今日の自分があることに感謝したい。

私の抱負

地域の思いを受けて

会津若松市立湊小学校
校長　橋本千賀子

強清水から国道二九四号線を南に向かって走ると程なく国道脇にカリヨンがそびえる肌色の校舎が見えてくる。広い敷地にどっしりと建っているこの立派な校舎には、この湊町住民の「いい学校をつくりたい」という熱い思いが詰まっている。

本校は開校五年目を迎えるが、この統合小学校が開校するまでには、二十数年という期間を要したという。当時の方々の切なる思いを感じる度に、「しっかりやらねば」という思いが胸に迫る。

恵まれた自然環境があり、温かい地域住民がいる。このよさをフルに生かし大局を見ながら、健康で個性豊かなたくましい児童を育成できるよう、一歩一歩着実な学校経営を進めていきたいと思っている。

地域と学校の結びつき

金山町立金山小学校
教頭　目黒和志

本校の今年度の重点目標は、「自然・地域・友達と関わり合いながら学びを深めていく子どもの育成」である。

過疎化・高齢化が進む金山町だが、脈々と受け継がれて来た文化や伝統、さらには豊かな自然環境と人材があり、そして何よりも輝くばかりの笑顔と無限の可能性を持つ子どもたちがいる。先生方も一人一人の子どもにしっかりと目を向け、すばらしい実践を行っている。

これからの優れた素材や人間の関わりを大切にし、さらに生かせるようにコーディネートしていくのも教頭の仕事である。保護者や地域と連携し、さらに魅力のある学校作りを心がけ、地域の活性化のためにも、学校から「元気パワー」を発信していきたいと思う。

今の私にできること

塩川町立塩川小学校
教諭　安田篤史

今、学校がとても楽しい。同僚の先輩方からたくさんのことを学べることもそうだが、何より子ども達と生活していることが本当に楽しい。休み時間に子ども達と交わす何気ない会話や、体育の授業中に一緒になって運動している時など、教師という立場を忘れて楽しんでいる自分に気付くことがある。

今の私にできることは、子ども達が楽しいと感じるような学級をつくることだと考える。そのために、日頃から子ども一人一人とよく話をするように心掛けている。話の内容は他愛もないことばかりだが、子どもの思いや気持ちがよく伝わってくる。私と子どもが『一緒に在る』感じになる。全員が楽しいと感じる、そんな学級を子どもと共につくっていきたい。

作品と指導

工作

『丸　皿』
会津本郷町立本郷中学校
2年　長谷川　瞳

本郷中学校では、部活動に陶芸部を常設し、窯も設置しています。そのため、やきものの里として、地域の素材や特徴を生かした学習をすることができます。この作品は、手びねりで制作し、素焼きした後絵付けをして本焼きしました。

指導者　渡部　由記子

習字

『左　右』
磐梯町立磐梯第一小学校
4年　遠藤愛実

導入段階で、筆順によって文字の形がかわることに気づかせました。その上で「一画又は二画目の横画の長短、あるいは左払いの方向と長短のどちらかに気をつけて練習する」という個人の目当てを明確にした段階を設け支援を進めました。

指導者　大堀　宏重

工作

『リボンと枝のうた』
北塩原村立大塩小学校
6年　高橋菜生子

「布と枝が組み合わさったら、どんなことができるかな？」の問いに、木の枝でごつごつした木組みを作り、対称的なふわっとしたやさしいリボンを添わせてみました。ちょっとかわった小物入れができ上がりました。

指導者　樋口　準子

絵

『あったらいいなこんなこと』
高郷村立高郷第二小学校
6年　佐藤正治

風景から思い描いた空想の世界を表現させるために、題材について子どもたちと話し合いました。「あったらいいなこんなこと」学校で育てた果物をジュースにして飲みたいという正治くんの願いが、画面いっぱいに広がっています。

指導者　長井　良二